

四
恩
園
し

おん
えん
四
恩
園

四
恩
園
えん

3
vol.41
NEWS



- 発行者 北広島リハビリセンター 特養部四恩園
- 住 所 〒061-1153 北広島市富ヶ岡509-31
- T E L (011)373-6655
- F A X (011)373-6611
- ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
- E-mail tokuyo@shionen.or.jp
- 編集発行 広報委員会
- 編集発行責任者 三瓶 徹

「無縁社会」は無縁の社会に、力を合せ縁づくり

厚生労働省の平成二十一年度版国民生活基礎調査の概況によると、六十五歳以上の方がいる世帯は二〇、一二五千世帯（全世帯の四一・九%）あり、構成割合で見ると、単独世帯（一人暮し）一三%、夫婦世帯五・八%、親子世帯一八・五%、三世代世帯一七・五%、その他一一・一%となつており、六十五歳以上の方だけの世帯は五二・八%と過半数に達します。マスメディアからは高齢者の所在不明問題や虐待、孤立死など高齢化社会について良いイメージをもつものは聞こえてきません。なかでも孤立死はその要因として地域におけるコミュニティの欠如が第一に挙げられます。希薄な人間関係が創り出す無縁社会のなかで、孤立死は解決しなければならない問題であり、それを未然に防ぐ地域作りを目指さなければなりません。独居のお年寄りが住み

慣れた地域で親しい友人と集い生きがいをもつて暮らしたいと願う方も大勢いるでしょう。

北広島団地地域交流ホームふれてでは生活の孤立感を軽減するため、多世代が集いお互いを支えあうことのできる「ミユニケーションづくりの場」とすることで、ご近所付き合いや横のつながりができる、活気に満ち溢れ、年老いても楽しく暮らせる地域になればと考えています。おかげさまで、ふれてのオープニングイベントには二〇〇名を超える来場を頂きました。これも皆様の期待と希望の表れと重んじ、「ふれて」「かたる」が「コミュニティの発信地としてはやく地域に根付くよう頑張ってまいります。四恩園が開設して十五年。私たちはずつと願い続けています。「その人がその人らしく生きることのできる社会を。

（広報委員長 前川）

北広島団地地域交流ホームふれて開設十五周年記念事業 おめでとうございます！

昨年十一月より北広島団地中央部に地域交流ホーム『ふれてあがたる』がオープンいたしました。四恩園開所十五周年記念特別事業として、高齢化の進む団地住民の憩いの場になつて欲しいと念じながら、開所に先立ち十一月二十三日オープニングイベントが地域の方々をお招きして盛大に開催されました。

私は来賓の市長さんのお言葉を忘れません。「立派な施設(はこ)を造つてくれました。この施設に魂を入れるのは皆さんです。」

私は来賓の市長さんのお言葉を忘れません。「立派な施設(はこ)を造つてくれました。この施設に魂を入れるのは皆さんです。」

借りして開催され、前半は『手品』で、後半に『ピアノに合わせて歌いましょう』と私の出番。集まつた七十余名の皆さんと懐かしい歌を一小時間歌いました。どの顔も満ち足りた表情が溢れました。こうして一人でも多くの方々と共にゆっくりと充実した時間を過ごしたいのです。どうぞ皆さま、足を運び下さい。温かい美味しいコーヒーが皆様をお待ちしています。

（家族会会長 鈴木誠次）

モニーでした。参加された地域の方々二〇〇余名や四恩園の方々は餅つきのお汁粉サービスまで遇されて時間を忘れていました。

後日十二月十六日、第二住区

町内会の『地域のお茶の間』が早速、当施設を会場に開かれました。一年目の活動に入つたこの催しは、昨年若葉小学校を

あつて、それは素晴らしいセレ

人と人のつながりから生きる喜びを知ろう!!
ついにオープン!
北広島団地地域交流ホーム

ふれて

トピニングイベントの様



こども達の声高らかに開会!



札幌交響楽団 アンサンブル演奏会



板垣恵さんとコール花音の皆様



きたひろしま福祉会さんの「勇太鼓」



もちつきも大盛況!



キッズコーナーで遊ぶこども達



にぎわう喫茶コーナー



閉会宣言に感動しました。



百人一首に子供達は真剣です。



おや？子供達は何をしているのかな？



絵本や木のおもちゃがあるキッズコーナー。広々として安心して遊ぶことができます。



絵本「100かいだてのいえ」は必見です。

向山
（地域
交流
ホーム
ふれ
て）

人と人のつながり（ふれてかかる）から生きることの喜びを知るー。そうした思いを込め、二〇一〇年十二月一日『北広島団地地域交流ホームふれて』がオープンしました。

北広島団地地域交流ホームふれてでは、地域の人々が集い、語らい、交流することができる喫茶コーナーやキッズコーナーを設け、定期的にミニ講座やミニイベントを開催しながら、地域の中で暮らし続けていくために必要な情報を住民の皆様に分かりやすく伝え、遊び、解決できる場を提供していきます。

子供、高齢者、障がい児者など、地域住民一人ひとりがお互いを尊重し尊厳をもって安心して生活のできる豊かな地域社会となるようその実現を目指します。

北広島団地 地域交流ホーム ふれて



ふれてでお茶の間を開催。



地域の方々へミニ講座やミニイベントを開催。

ふれてはボランティアの方々の力によって支えられています

おいしいコーヒーが飲める喫茶や、遊具・絵本が置いてあるキッズコーナーなど、地域の方々が交流して楽しむことができる場です。地域住民である私たちでこれらの運営を行っていこうと考えています。子供と一緒に、コーヒーを飲むついでに、楽しみながら一緒にボランティアしてみませんか。短時間でも、毎日でも大歓迎です。子供好きな方、コーヒー好きな方、掃除が得意な方など、興味のある方はぜひご連絡ください。



本格コーヒーが楽しめる喫茶では、時がゆっくり流れます。



運動リハビリで身体機能を高めましょう。



創意工夫を施した使いやすい浴槽です。



ふれてのイベントにはかかるお客様も参加できます。この日は百人一首に挑戦！



通信カラオケで紅白のあの曲だって歌えます。

また、男性のお客様が多い点もあり、男性の方にも魅力のあるデイサービスになりつつあります。お客様自身がいきがいを見つけていただき、時には先生となつて地域の方々に指導していただき、くとも徐々に出てきています。

生かせる、地域交流ホー
ム「ふれ

い。「厨房が良く見え、調理師も
お食事もよりおいしく感じる」「家
間近にいるため、親近感がわき
がることが嬉しい」「ふれて開
催の地域のお茶の間が楽しみ」「で
きることは頑張って一人でやろう
という気持ちになってきた」とい
うお声をいただいています。



初詣に行ってきました～。



陽あたりの良い食堂は吹き抜けなので、ふれての様子を眺めることができます。

昨年十二月一日、皆様のお力添えにより、「デイホームかたる」がオープンしました。

デイホームかたるのサービスの特徴は以下のとおりです。

①「専門職による個別機能評価

と生活リハビリ指導」、お客様の身体機能を最大限に活かすことができるよう、「評価」を重視したりハビリを実施致します。②「ゆったりとした入浴サービスと真心のこもった食事の提供」、個別浴槽を配置し、ゆったりとご入浴いただけます。また、午前、午後共に入浴いただけるよう、お客様にお選びいただけます。食事についても専属の調理師が調理した真心のこもった食事を提供致します。

③「お客様が主体的に参加できるアクティビティ」、本格的な趣味活動や生涯学習に取り組める場、お客様の個々の知識や経験を

提供できるように、お客様とともにかたりあつていただきたいと考えています。

「お風呂の時間」を选べるのが良

す。お客様のお声としては、「お風呂の時間」を选べるのが良い。「厨房が良く見え、調理師もお食事もよりおいしく感じる」「家ではなかなかみつけられない役割があることが嬉しい」「ふれて開催の地域のお茶の間が楽しみ」「できることは頑張って一人でやろうという気持ちになってきた」とい

うお声をいただいています。

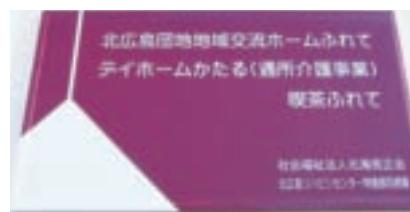
(デイホームかたる 富岡)

「デイホームかたる」はこれからもお客様と、地域の皆様と、共にかたり、ふれあいながら、作り上げていく、地域の拠点として、サービスを実施していきたいと考えています。



厨房からはいつもいい匂いがしてきます。

デイホームかたる



て」も積極的に活用していきます。

④「日曜日にもサービスを提供」、「生涯現役・誰もが主役!」の理念のもと、ニーズにあつたサービスが

~ミナパピリカ~



シャンパンタワーの登場です！



大抽選会で大当たり～！

(施設サービス課 奥野)

イルミネーションの点灯と職員のハンドベル演奏でプロローグしたクリスマス忘年会。入所の飯田富子様の元気な乾杯で夕食がスタート。チキンやエビフライ、きのこのリゾットやカラフルなクリスマスケーキのご馳走に「こんなに食べられないわ！」と控えめだった方も、気づけばお膳はカラ。皆さん大満足なご様子でした。

ドライアイスの煙の中、シャンパンタワーが登場。流れる色とりどりのシャンパンが幻想的な時間を演出し、その後行われた大抽選会に皆さん一喜一憂しきりな盛り上がりを見せました。

最後、一本締めで終えたクリスマス忘年会は、終始笑いが絶えず、お腹も心も満たされた会になつたのではと思ひます。

特養部

クリスマス忘年会

イルミネーションの点灯と職員のハンドベル演奏でプロローグしたクリスマス忘年会。入所の飯田富子様の元気な乾杯で夕食がスタート。チキンやエビフライ、きのこのリゾットやカラフルなクリスマスケーキのご馳走に「こんなに食べられないわ！」と控えめだった方も、気づけばお膳はカラ。皆さん大満足なご様子でした。

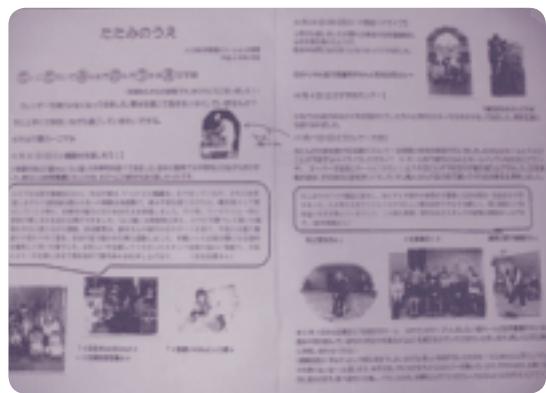
今年度新たな試みとして、広報「たたみのうえ」を二回発行し好評を得ました。日本人の八割以上が自宅で死にたいと望む一方、実際には「割以下の方々しか実現できていません。「たたみのうえ」はそんな我々の願望を象徴しています。

もうひとつ試みは利用者様やご家族が作られた作品を、地域交流ホームふれで展示する「作品展」です。本当に我々もびっくりするほどの芸術家ぞろい！家にこもりがちな皆さんを屋外にお連れし、作品をとおして自身を回復して欲しい。というのがねらいです。その模様は後日ご報告しますね！

(訪問看護 町田)

訪問看護

新たな試み



広報たたみのうえ

ヘルパー

人と人とのつながり、
高齢者見守りサービスの実証実験

平成二十二年十一月一日より、NTT東日本様と共に、テレビ電話による「高齢者見守りサービス」の実証実験を本格開始しました。これは、ヘルパーステーションのサービス提供責任者がオペレーターとなり、お客様へのテレビ電話による安否確認をはじめ、「ミニユーティ機能や、安価なテレビ電話システム



テレビ電話でお話しする様子

等の実験を実施し、その効果について検証を行つもので。現在、この実験に参加していただいている方は十五名。NTTより配布された「フレッツフォン」を使用し、決まった曜日と時間にテレビ電話で会話をしています。初めは慣れない機械に緊張気味だったお客様も、今ではこのテレビ電話を楽しみにしていた



わきあいあい 『輪喜愛逢

給食

大晦日御膳

デイサービス

生まれ変わります



十一月一日より、『新生』デイサービスセンター四恩園が新しい歩を踏み出しました。

これまで少々込み合つ事もあったフロアや入浴、また集団リハビリや手芸やカラオケ、レクリエーションといったプログラムや余暇時間等、ありゆる場面において『ゆうべつ』『ゆつたり』とした時間が流れるようになり、お客様からも好評を頂いております。

これからも、お客様が安心してサービスをご利用頂けるように、職員一丸となつて頑張つていきた

いと思います。皆様も是非『新生』デイサービスセンター四恩園へ遊びにいらして下さいね!

(デイサービス 奥山)

- 【□取り】
 - 鯛の焼物
 - うま煮
 - 蟹爪クリームフライ
 - 紅鮭昆布巻
 - 有頭海老の姿蒸し
 - すだち釜に入った栗きんとん
 - 丹波黒豆
 - 伊達巻
 - 紅白ままかり巻
- 卯のねりきり
- 干支羊羹
- 【生ちらし寿司】
- 【紅白結び麩の御吸い物】
- 【金粉酒】



だっています。お客様からは、「まるで側にして話をしているようだ。」「顔を見て話ができるのは安心。」「遠くに住む家族の顔を見て話せて嬉しい。(数名のご家族にフレットフォン設置)」と感想をいただいています。

オペレーターをする側としても、テレビ電話を利用すると、電話だけでは分からぬお客様の表情や様子を知ることができ、それが安心につながっています。また、それだけではなく、いつもと違う様子を訪問しているヘルパーやケアマネジャーへ連絡することで、さらに質の高いサービスが提供できると実感しています。今後このテレビ電話を、お客様同士のコミュニケーションの場へと発展させることができれば、もっと価値あるものになり、「人と人とのつながり」を実感できるサービスへとつながっていくのではないかと考えています。

(ホームヘルプサービス 石川)

さとみ

「のんびり、ゆつたりと」



十一月、餅つき。男性の英さん九十歳と田中さん八十二歳の「シンド」で無事餅がつきあがりました。「バンザイ」女性の方々で丸めて雑煮とお汁粉の完成です。

英さんがせっかくだからと「お鏡」を作ってくれました。ミカンの代わりに皆の似顔絵のおもちゃカボチャをのせてお正月を待ちました。

クリスマスにはささやかながらプレゼントを渡すこともできました。職員も皆様から元気をもらつて頑張る力がモリモリです。二〇一〇年はデイホームさとみの皆様は元気に過ごすことができました。二〇一一年は跳ね回るウサギまでいかなくともカメのようになんびりゆつたりとした一年を過ごしました。

(デイホームさとみ 及川)



フレットフォン

それぞれのバレンタインデー

2月14日バレンタインデー。今ではカレンダーに記載される程、当たり前とされてきた記念日ですが、どのような時代を経てこの日本に伝わってきたのでしょうか。

まず、日本ではチョコレートを贈る独自の習慣がありますが、これはチョコレート会社「モロゾフ」が1936年（昭和11年）2月12日にバレンタインデー向けチョコレートの広告を出したのが「バレンタインデーにチョコレート」の最初と言われています。

そもそもバレンタインデーには様々な説があり、その一つとして、その昔、ローマ帝国では強平策として兵士の結婚を禁止していました。それに反対したバレンタインこと、ローマの司祭「聖バレンティヌス」は、多くの兵士たちを結婚させました。司祭はこのため、269年2月14日に処刑されました。以来この日は、聖バレンティヌスの死を悼む宗教的行事でしたが、14世紀頃から、若い人たちが「愛の告白をしたり、プロポーズの贈り物をする日」に変わって来たと言われています。

私は四恩園に入所しているお客様にバレンタインデーの風習についてお聞きしたことがあります。ある方は「昔はそんな習慣なんてなかったよ。好きな人に贈る物はお正月に年賀状を出すことくらいだったかな。」と少し照れながら話していました。

バレンタインデーが大切な人に想いを伝える日ならば、それは人それぞれの方法や瞬間があってもよいのではないでしょうか。

（施設サービス課 河村）

安全運転の 標語 雪山の 向こうに何か来るぞ 要注意！

（交通安全委員会）

四恩園では、安全運転の標語と北広島市内交通事故危険マップを作成し職員一人ひとりが安全運転を心がけています。

地域交流ホームふれて キッズコーナー

絵本にふれて



キッズコーナーの絵本を紹介するこのコーナー

今回ご紹介する絵本は **ともだちや** です。

「えー、ともだちやです。ともだちはいませんか。」

キツネはともだちやをはじめる事を思いつきました。

1時間100円で友達になってあげるのですが、さて……



感染予防の標語

〈お客様、職員共々安心安全を第一に感染対策に努めましょう〉

ケアして あなたが一番 感染源

（感染対策委員会）

編 集 後 記

今回は、新しくオープンした地域交流ホーム「ふれて」デイホーム「かたる」の特集をさせて頂きました。その他各部署でも、新たな取り組みをドンドン始めています。何かを始める時、不安や失敗はつき物ですが、常にチャレンジ精神で職員一同頑張っていきます！

（ヘルパーステーション 石川）